



力強いポストコロナを見据えた 「日本一暮らしやすい埼玉へ」 の実現を

感染再拡大に備えた体制強化

昨年9月末の緊急事態宣言の解除以降、感染は落ち着いた状況が続いていますが、再拡大に備えた体制強化にも力を入れています。現在、国の推計値から算出される必要病床数2,176床の確保に向け、国と連携した病床確保や医療機能を強化した宿泊療養施設等の整備を進めています。

また、保健所の相談対応・健康観察業務を強化するため、派遣看護師を77人から最大129人体制に増員。自宅療養者についても、これまでで最大の約2万人の健康観察に対応できる体制を整えました。

3回目のワクチン接種の前倒しに向けて市町村をしっかりと支援するなど、オミクロン株への対応にも万全を期しています。

国内最大規模の ワクチン・検査パッケージ実証実験

感染再拡大への備えとともに重要なのがポストコロナを見据えた出口戦略です。特に、これまで数々のご協力をいただいていた飲食事業者の皆様のためにできることを考え、国に対して強く働きかけを行い、実現に至ったのがワクチン・検査パッケージ実証実験です。

上尾駅周辺で彩の国「新しい生活様式」安心宣言+（プラス）の認証を受けている飲食店41店舗のご参加をいただき、昨年10月、国と共同で実施しました。参加店舗数は国内最大規模です。

ワクチン接種証明書などの提示がある場合には、酒類提供時間、営業時間、人数の制限なく店舗が利用で

きることとし、店舗ごとに特典も提供してもらいました。今回の実験結果は国とも共有し、感染再拡大期における飲食店への要請内容の検討に活用するなど、感染防止対策と経済活動の両立を図っていきます。

今後の埼玉県経済を支える支援策

コロナ禍が長期化することを見据え、多様な経済対策を構築するため、一昨年5月にいち早く立ち上げた産官学金労で構成する「強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議」では、ウィズコロナ・ポストコロナでも持続可能な成長を続けることができる強い埼玉づくりに向けて、今後の埼玉県経済を支えていく支援策を取りまとめました。

DXの推進では、国、県、市町村、経済団体や企業経営者との豊富なネットワークを持つ地域金融機関、支援機関が相互に連携した支援体制を構築。分散している支援情報や資源を集約して、県内中小企業のデジタル化やDX推進を強力に後押ししていきます。

オンラインを活用した海外ビジネスの展開支援では、ジェット口埼玉と連携したセミナーの開催やシンガポールのECサイトへの埼玉県特設ショップの開設、さらには、オンライン展示会で活用できるプロモーション動画の作成支援などにより、県内企業のビジネスチャンスの創出・拡大を進めます。

ポストコロナを見据えた強い埼玉を築いていくためには、県内各界各層の皆様方のお力添えがぜひとも必要です。明るい未来につながる「日本一暮らしやすい埼玉」の実現のため、引き続き、ご支援ご協力をお願いいたします。

2021年 大野知事 日々の活動^(抜粋)



▲「T.T彩たま」(プロ卓球リーグ所属)の表敬訪問

2021年9月6日(月曜日)「T.T彩たま」(プロ卓球リーグ所属)選手の表敬を受けました。「皆さんには魅力あふれるプレーだけでなく、ぜひ結果を残してもらい、卓球が県民にとって大切なスポーツだと広めてほしいです」と話しました。



▲埼玉 WABI SABI 大祭典2021に参加

2021年11月21日(日曜日)、大宮公園で開催された、埼玉県の盆栽や生け花、きもの、お茶、書道、伝統芸能などの和文化的魅力を「見て、感じて、楽しめる」和文化的総合イベント「埼玉 WABI SABI 大祭典2021」に参加し、イベントを盛り上げました。



▲最先端のガラス製品を製造している企業を視察

2021年11月22日(月曜日)「スーパーカミオカンデ」に使用されている光電子増倍管用ガラスバルブなど最先端のガラス製品を製造している日本無線硝子株式会社(ふじみ野市)を視察しました。

▼東京2020オリンピック競技大会 自衛隊体育学校所属選手の表敬訪問

2021年10月26日(火曜日)、東京2020オリンピックでメダルを獲得した山田優選手の表敬を受けました。金メダルという素晴らしい結果を残し、多くの県民に勇気と希望を与えてくれた山田選手に敬意を表するとともに、スポーツ賞会長特別賞を贈呈しました。



▼埼玉150周年記念式典

「県民の日」である11月14日(日曜日)、埼玉会館(さいたま市)で行われた「埼玉150周年記念式典」に参加しました。「150周年を築いていただいたすべての先人の皆様に心からの感謝と敬意を表するとともに、県民の皆様とこの良き日を祝いあいしたいと思います。埼玉150周年を契機にすべての県民や事業者の方々と心一つにして、笑顔と希望にあふれる、県民だれもが生き生きと活躍できる日本一暮らしやすい埼玉の実現に取り組んでまいります」と挨拶をしました。



▼駐日ドイツ大使の表敬訪問

2021年11月22日(月曜日)、クレーメンス・フォン・ゲッツェ駐日ドイツ大使の表敬訪問を受けました。埼玉県は、ドイツ連邦共和国のブランデンブルグ州と1999(平成11)年に姉妹提携を締結し、教育、環境、スポーツの分野で同州と交流を深めてきました。

